

前回会議までの振り返り

第1回会議（R1.5.27）

【内容】

- ・藤原総合文化会館検討専門部会の役割について
- ・日光市の現状課題と公共施設マネジメントの取組みについて
- ・藤原総合文化会館検討の経緯等について
- ・検討事業手法について

第2回会議（R1.6.26）

【内容】

- ・藤原総合文化会館についての方向性について
 - ・当該地の具体的事業内容の検討について
- 会議の進め方も含めて、次回会議において仕切り直す。

第3回会議（R1.7.29）

【内容】

- ・公共施設マネジメントに係る検討体制について
 - ・専門部会の進め方について
 - ・総合文化会館跡地利用に対する市の考え方について
- 所属団体に持ち帰り、意見を集約した上で事務局に報告

第4回会議（R1.12.2）

【内容】

- ・藤原総合文化会館に関する意向調査の結果について
- 文化会館は令和2年4月以降休止、観光情報機能は駅前に残すことを前提に今後議論を進める。
- 跡地利用については、次回以降の会議で検討

第5回会議(R2.1.23)

【内容】

- ・今後の会議の進め方について
 - ・藤原総合文化会館の跡地利活用における事業手法について
 - ・藤原総合文化会館の跡地利活用にかかる提案内容について
- 手法は民業圧迫しないことを条件に公民連携を前提に進める。
- 公共施設は市民活動の発表の場の確保、フリースペースを前提に今後検討を進める。
(美術館等は除外)
- 商業施設については、飲食施設を中心に物販も含めて検討していく。
(物販のみ、宿泊施設は除外)

第5回会議までにまとめた専門部会としての意見等について(公共的施設)

提案内容	部会での意見等	部会での具体例
<p>ホール (市民活動発表の場)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・市によるハコモノ整備は困難 ・市民のための施設 ・屋外の場合、雨天対策 ・観光客にも見せられる工夫(市民と観光客との交流) ・展示場所の確保 	<ul style="list-style-type: none"> ・多目的ホール ・生涯学習機能を持つ施設 ・音楽堂 等
<p>フリースペース</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・屋外の場合、雨天対策 ・商業施設との一体的な整備の検討 ・駅前広場との一体的な整備・利活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・親子で遊べる全天候型施設 ・囲碁・将棋・ジム ・休憩場所 ・待合せ場所 ・授乳室 等
<p>観光情報センター</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・駅前に機能を残すこと 	

第5回会議までにまとめた専門部会としての意見等について(収益施設)

提案内容	部会での意見等	部会での具体例
<p>テナント・商業施設 (飲食施設を主とした複合施設)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・駅前の既存店舗で取り扱っている商品は扱わないこと ・夕方以降も開店していること ・電車利用者以外の集客ができる施設 	<ul style="list-style-type: none"> ・食をテーマにした商業施設 ・レストラン ・利き酒コーナー ・地ビール工場 ・道の駅 ・日帰り温泉施設 ・県内酒蔵テナント ・アミューズメント施設 等

今後の進め方について

第6回会議以降の進め方について

※コロナ禍前

第5回専門部会での考え方	第6回専門部会での考え方
1 提案内容についての検討	1 提案内容についての検討(済)
2 提案内容の絞り込み	2 提案内容の絞り込み(済)
3 提案内容を絞り込んだうえで、その内容・規模等について検討	3 専門部会での意見を踏まえ、民間事業者等へのサウンディング調査実施
4 提言内容の検討	4 市の方針(案)作成(事務局)
5 専門部会からの提言を踏まえ、民間事業者等へのサウンディング調査実施	5 専門部会で市の方針(案)に対する意見
6 市の方針作成	

【第5回専門部会で確認された事項】

- ・事業手法は公民連携を前提に検討を行うこと。
- ・美術館等、商業施設(物販のみ)、宿泊施設は除外すること。

現在の状況をふまえると・・・

コロナウイルスの終息が見通せない中で、

- 今後の社会や経済、日常生活などの先行きが全く見通せないため、サウンディングに参加する事業者が見込めないのではないか。
- 仮に現在の状況でサウンディングを実施し、提案を受けたとしても、その内容が、今後の社会情勢とうまくリンクできるのか。(提案が無駄になってしまう可能性がある。)



上記をふまえると、今拙速にサウンディングを実施するのは得策ではなく、もう少しばかり状況を見守り、実施時期を見極める必要があるのではないか。

第6回会議以降の進め方について(案)

第5回専門部会での考え方	第6回専門部会での考え方
<ul style="list-style-type: none">1 提案内容についての検討2 提案内容の絞り込み3 提案内容を絞り込んだうえで、その内容・規模等について検討4 提言内容の検討5 専門部会からの提言を踏まえ、民間事業者等へのサウンディング調査実施6 市の方針作成	<ul style="list-style-type: none">1 提案内容についての検討(済)2 提案内容の絞り込み(済)<u>3 跡地利活用に関する勉強会</u>4 専門部会での意見を踏まえ、民間事業者等へのサウンディング調査実施5 市の方針(案)作成(事務局)6 専門部会で市の方針(案)に対する意見

藤原総合文化会館跡地利活用に関する勉強会について(案)

回数:3回程度

メンバー:専門部会員の中から部会長推薦

東武鉄道(株)ほか観光関係者

日光市

人数:5~10名

内容:他市の先進事例研究、跡地利活用に関するアイデア出し等

報酬:無報酬

時間:1回あたり2時間程度

